



12月例会12月定期総会 全体集合

一年間を振り返って

2025年度は、世界を取りまく環境が日々変化し続ける中、我々が地域社会を牽引するリーダーとして、率先してまちの課題に取り組み、人びとを繋ぐ架け橋となるために、「絆」をキーワードに掲げ、「絆で繋がるひととまち未来につなぐ65年の歴史と伝統」をスローガンとして、個々ではなく、誰かが誰かのために思い行動を起こし、相互の関係性を築いていくことで、絆で繋がる川越の創造に向けてメンバー丸となり運動を展開してまいりました。

「絆で繋がるひとづくり」

地域社会から必要とされるリーダーへと成長するために、武田鉄矢氏をお招きした65周年記念講演会などを通じて、明確な目標を掲げ、自分ならできるという強い意志を持てるようになり、多くの人びとを導くリーダーとしての資質を高めてまいりました。また、子どもたちが自身の将来像を明確に思い描き、目標に向かって歩み続ける人財へと成長するために、地域の人びととの交流を通じて思いやりの心を育むために実施した「絆を育む思いやり事業」などを通じて、子どもたちは多様な価値観や柔軟な思考を持てるようになりました。

「絆で繋がるまちづくり」

多くの人びとがまちに愛着を持つことで、地域社会の発展へと繋げるために、まちの若者と共に地域社会、行政、諸団体と連携をして「絆で繋がるまちづくり事業」を開催し、実際に地域活動に参加することの楽しさや大切さを学ぶことで当事者意識が深まり、これからのまちの未来のためには、一人ひとりが積極的に地域活動に取り組むことが必要であると実感していただきました。また、地域の企業を対象に鈴木政次氏をお招きした65周年記念経営セミナーを開催するなど、地域社会への貢献活動の必要性について学び、企業のブランド価値の新たな創出のきっかけを提供することで、地域社会と共に成長する魅力的な企業へと発展することを推進いたしました。

「絆で繋がる組織づくり」

仲間と本音で議論し互いを認め合うことで、強い絆で繋がる組織

へと発展し続けるために、(公社)川越青年会議所がこれまで築き上げてきた堅実な組織運営を行うと共に、各出向先での事業や諸大会に積極的に参加をし、全国の仲間たちとの交流を通じて新たな発想も取り入れることもできました。また、まちの人びとに我々の運動を広く発信をするために、65周年記念全体事業として「川越絆プロジェクト2025」を開催し、各委員会が各分野において地域社会が抱える課題解決に向けた事業を開催することで、我々の存在価値を改めて確立すると共に、我々の運動に賛同し志を同じくする新たな9名の正会員を迎えることができました。

「最後に」

(公社)川越青年会議所は創立65周年という節目の年を迎えるにあたり、10年ぶりに周年式典を開催いたしました。殆どのメンバーが式典自体を経験したことがない中、試行錯誤しながらも、メンバー丸となり協力して作り上げ、当日多くの先輩諸兄姉の皆様と共に創立65周年をお祝いすることができたことは、今後の(公社)川越青年会議所にとって大きな糧となりました。これもひとえに、OB会員の皆様のご多大なるご理解・ご協力のおかげでございます。そして、本年は(公社)川越青年会議所から48年ぶりに(公社)日本青年会議所関東地区協議会会長を輩出し、(公社)日本青年会議所をはじめ、各協議会に出向した多くのメンバーの活躍により、我々の存在を埼玉のみならず関東そして日本と広く周知することができました。この一年で得た多くの出会いと体験そして成長の機会が、今後の(公社)川越青年会議所の未来へと繋がる、そんな飛躍の一年になったと確信をしております。2025年度のすべての運動を無事に終えることができましたのは、一年間共に歩み続けてくださった理事役員をはじめとする(公社)川越青年会議所全てのメンバーの皆様、メンバーを支えていただきましたご家族や事業所の皆様のおかげでございます。また、我々の運動にご多大なるご支援・ご協力を賜りました川越市、川越商工会議所、各諸団体の皆様、そして常に現役メンバーを温かく見守っていただきましたOB会員や協賛会員の皆様に、心から感謝を申し上げ、一年間を振り返っての理事長報告に代えさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました。



2025 年度卒業生一同



さよならブロック 2025

ブロック旗の伝達に登壇する相原広明君（最右）

Report

◆(公社) 日本青年会議所 関東地区協議会 ありがとう関東地区

日時：2025 年 11 月 30 日（日）

【ありがとう関東地区式典】

開会：14:10

閉会：15:15

【カンチク AWARD・次年度継承式典】

開会：15:25

閉会：16:25

【大懇親会】

開会：18:30

閉会：20:00

会場：川越プリンスホテル

去る 11 月 28 日（金）、(公社) 日本青年会議所 関東地区 埼玉ブロック協議会さよならブロック 2025 が越谷の地にて開催され、川越からは 20 名を超えるメンバーで参加してまいりました。

さよならブロックでは、年初に計画した事業についての活動報告を行い、次年度以降へその経験を繋げていくことと併せて、各運動や活動に邁進してこられた卒業生に対し、感謝を伝えるだけでなく、その想いを引き継ぎました。オープニング動画に始まり、10 年間例会 100% 出席者表彰や拡大褒賞の表彰、そして各委員会事業報告が行われ、2025 年度の事業実施を通じて得た経験や改善点の報告を聞くことで、メンバーの今後の青年会議所活動・運動の意欲向上に繋がりました。また、小船隆一会長より埼玉ブロック協議会としてどのような一年間だったか振り返っていただき、埼玉ブロック協議会として目指していた展望がどのように形になったかをお話いただきました。次年度運営専務の相原広明君も登壇したブロック旗の伝達では、役員輩出 LOM として 2026 年度への意識を高めるきっかけとなりました。その後の加涌章吾会長予定者挨拶、役員予定者挨拶、そして各委員会の PR では 2026 年度に対する活動指針とその意気込みが語られました。最後に、埼玉ブロック協議会委員長連絡会議議長の八ツ田慎治君より卒業生を代表し、入会当初の自分と、様々な事を経験した後の自分の変化をテーマに、残されたメンバーへのスピーチがあり、その想いを受け継いでまいりました。

今後も埼玉ブロック協議会の事業等に積極的に参加し、出向者に寄り添いながら、多くの学びを得られるよう精進してまいります。

専務理事 永島慎太郎
運営特別委員長 進士 春樹

◆(公社) 日本青年会議所 関東地区 埼玉ブロック協議会 さよならブロック 2025

日時：2025 年 11 月 28 日（金）

開会：16:00

閉会：18:30

会場：サンシティホール 小ホール

去る 11 月 30 日（日）、川越プリンスホテルにて「ありがとう関東地区」が開催され、(公社) 川越青年会議所からは 40 名近いメンバーが参加いたしました。

式典は厳格な雰囲気のもと、川越のメンバーである渋谷巧会長の挨拶に始まり、関東地区協議会の一年間の活動が振り返られました。LOM と関東地区協議会が連携し、地域の課題に向き合いながら事業を構築していく取り組みなど、(公社) 川越青年会議所では行っていない取り組みを知ることができ、大変良い刺激を受ける機会となりました。

褒賞事業発表となる「カンチク AWARD」には、当 LOM からも事業をエントリーいたしました。残念ながら受賞には至りませんでした。一方で、受賞した LOM を目の当たりにし、組織としてのモチベーション向上に加え、一体感の醸成につながることを実感いたしました。(公社) 川越青年会議所としても、来年度も多くの事業を予定していることから、アワードへの再挑戦を目指してまいります。

次年度継承式典では、関東地区旗の伝達が滞りなく行われ、埼玉から茨城の地へと引き継がれました。続く大懇親会では、松本隆理事長が開会挨拶を任され、関東地区内のメンバーとの交流を深めるとともに、シークレットライブも開催され、会場は大いに盛り上がりました。

2026 年度は、渋谷巧君を直前会長に、松本隆君を監査担当役員として輩出することとなり、(公社) 川越青年会議所にとって、さらなる貴重な経験と多くの出会いを得られる一年となります。今後も関東地区協議会の事業等に積極的に参加し、出向者に寄り添いながら、多くの学びを得られるよう精進してまいります。

専務理事 永島慎太郎



ありがとう関東地区 渋谷巧会長による挨拶



ありがとう関東地区 松本理事長による乾杯の発声

Information

◆1月例会定期総会・新年懇親会

日時：2025年1月26日（月）

【定期総会】

登録・受付：16：30

開会：17：00

閉会：18：20

【新年懇親会】

登録・受付：18：30

開会：19：00

閉会：21：00

会場：ラ・ボア・ラクテ 4F ベガ

担当：総務委員会

来る2026年1月26（月）、ラ・ボア・ラクテ4Fベガにおきまして1月例会1月定期総会を総務委員会担当のもと開催いたします。1月定期総会は2026年度一番初めの例会であり、（公社）川越青年会議所の最高意思決定機関と定義している重要な例会です。1年間の活動をしていくうえで必要となる重要な議案をLOMメンバーの皆様へ承認いただくことで、ひと、まち、組織を連動させ、出会いと体験に感謝できる縁で結ばれる川越の創造に向けた士気を高め、これからの活動に弾みをつける機会といたします。つきましては、LOMメンバーの皆様には開会時からのご出席をお願い申し上げます。

定期総会閉会後には、同会場にて新年懇親会を開催いたします。LOMメンバーが来賓・OB会員・協賛会員・来訪JCの皆様へ感謝の気持ちをお伝えし、新年の祝賀と共に関係をより一層深める時間を共有させていただきます。また、（公社）川越青年会議所2026年度体制を対外諸団体の方々へとお披露目もさせていただきます。1月例会定期総会・新年懇親会は、諸先輩方が築き上げてこられた歴史と伝統を感じることができる例会です。LOMメンバー一人ひとりが誇りを持ち、一年間の最高のスタートとなるよう、委員会メンバー一同一丸となって準備を進めてまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

総務委員長予定者 進士 春樹

阿部 竜也



入会年月：2024年6月

入会番号：799

入会して一年半と短い時間でしたが、青年会議所に入ってよかったなと心から感じております。それは何故かと申しますと、同世代の仲間がこんなに沢山できたこと、また諸先輩方との繋がりができたことです。地元川越でこれだけのひとと深くかかわれる団体は他にないと思います。

最終年度の青少年開発委員会は今までにないほど沢山の経験をさせていただきました。今までは頼みごとをされても断る理由を探していましたが、今年は頼まれたこと、お願いされたことは絶対に断らないと自分の中の小さな目標を持っていました。この一年達成できたのではないかと思います。出来ないことでも挑戦すること！わからなければ調べること！それでもわからなければ知っている人に聞くこと！そうすることで自己成長できると確信いたしました。逃げ続けていた自分が変わったのは青年会議所に入ったお陰だと思っています。

来年度からはOBとなりますが現役の方々を支えられる存在になりたいです。青年会議所を通じて出会った方々全てに感謝申し上げます。諸先輩方におかれましてはまだまだ未熟な私ですがこれからも温かい目で見守っていただけると幸いです。引き続きよろしく願いいたします。

今村 章吾



入会年月：2021年7月

入会番号：762

2021年8月に（公社）川越青年会議所に入会させていただきました。

卒業までの期間はコロナウィルス感染症の影響や仕事の繁忙期が重なりなかなか参加できずにいましたが、実際、私が加入してみても事業に参加させていただいたときに、皆様の川越に対する思いや仲間との絆を深く感じ取ることが出来ました。JCに入る前までは、企画一つにしても受ける側でしか物事を考えていませんでしたが、準備する側の両面を知ること、たくさんの思いがあること一つの企画に対して、こんなにも練り直しをしてこんなにも時間をかけて地域活動に邁進していることを知ることが出来ました。一人ひとりが川越を良くするために動いており、本当に尊敬できる方ばかりで大きな刺激となりました。JCでは多くの出会いと経験ができる場所です。まだ活動期間のある方は悔いのない時間を過ごしてもらえればと思っています。

私はこのまちが大好きです。これからも一人の社会人として、卒業生として責任をもって地域に陰ながら貢献していきたいと思

います。

最後になりますが、(公社)川越青年会議所の先輩方、現役メンバーの皆様の今後のご活躍と発展されることをご祈念申し上げます。誠にありがとうございました。

今村 雄一



入会年月：2022年8月
入会番号：781

青年会議所活動は、私の中で大きな変化を与えてくれました。自分の限界を知ることの大切さや生きがい、自分の人生について深く考えさせられる期間だったと思います。人生は一度しかない。振り返って思い出をたくさん作るこそが人生そのものである。その振り返った時にどれだけのことを成し遂げ、どれだけの人を笑顔にできたのかがその人の生きた証なのだと思います。青年会議所活動は多くの仲間たちとたくさんの人々を笑顔にする人生に彩りを与えてくれる活動です。

そんな活動であるのは十二分に理解しているのに最後まで走り切ることができなかったのが、私の後悔です。これもまた人生の彩りではありますが、輝きのない色もあることを痛感しております。痛みを伴うこの色をいつか輝くものに変えられるようにすることが卒業してからの課題だと思います。

短い期間ではありましたが青年会議所の活動を通じて得た経験は他では変え難い貴重な経験でした。

これからまだ活動のできる後輩は恐れずに一步踏み込んで欲しいと思います。たくさん迷惑をかけることもたくさん傷つくこともあるけれど、その一步を踏み込んだ経験は確実に自分を成長させています。その経験がこれからの人生の一日一日の重みを変えていきます。

末筆にはなりますが、青年会議所を作り上げ、維持し、繋いできたOBの方々、支えてくれている協賛会員の皆様に厚く御礼申し上げます。私の最後の挨拶にかえさせていただきます。

鈴木 直樹



入会年月：2017年3月
入会番号：713

2017年に青年会議所へ入会してから今日までの約9年間、振り返れば本当に多くの経験と成長の機会をいただきました。右も左もわからず不安ばかりだった入会当初、温かく迎え入れてくださった先輩の皆さま、そしてともに活動を重ねてきた仲間たちの存在があったからこそ、ここまで歩むことができたこと心より実感しています。2020年には、記録会計特別委員長という大きな役目を仰せつかり、不安もありながら、委員会メンバーと力を合わせ、やり切ることができました。多くの学びを得た一年でした。この経験は、私のJC活動の中でも大きなターニングポイントとな

りました。

そして2021年には、専務理事という大変光栄な役職をお預かりする機会をいただきました。しかし、会社都合によりやむを得ず予定者までしか務められなかったことは、今でも心残りとして胸にあります。それでも、事情を理解し、励ましの言葉をかけてくださった仲間や先輩方の温かさに、私は大きく救われました。この場を借りて、改めて深く御礼申し上げます。

いよいよ卒業を迎えるにあたり、これまで支えてくださった皆さまへの感謝の気持ちは尽きません。JCでの活動を通じて得たものは、単なる知識や経験に留まらず、仲間との絆、地域への想い、そして自分自身の成長を実感できる、かけがえのない宝物です。時に悩み、時に迷いながらも、多くの方々に支えていただき、共に歩んできたこの経験は、私の人生において忘れられない財産となりました。

卒業後も、青年会議所での活動を通じて目にしてきた、まちの可能性や人の力を信じ、私自身もその一端を担えるよう努力を続けていきたいと思っております。若い世代が輝ける環境づくり、地域が元気になる取り組み、そして次の担い手を育てることに、微力ながら携わり続けていきたいと考えています。

最後に、これまで関わってくださったすべての皆さまへ、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしく願いいたします。

関口 智彦



入会年月：2020年9月
入会番号：743

2020年に入会し、当初は人脈を広げたいとの想いでおりましたが、皆様と活動していく内に地域をより良くしたいという想いになりました。その中で、まちづくり、ひとづくりというものに触れさせていただき、メンバーと交流する中で「仲間とともに挑戦する喜び」を学ばせていただきました。

入会して間もなくコロナ禍となり、すべてが変わった時の「できない理由ではなく、できる方法を探す」という皆様の姿勢が当時の私の心に強く突き刺さり、私を変えてくれたきっかけの一言でした。一人では何もできないかもしれないが、仲間とだったら何でもできる。そう思えた出来事がとても印象的でした。

この5年間で携わった事業はたくさんあります。成功も失敗も多くの事を経験させていただきました。議案が取り下げになり、泣いた夜も、逃げた日もありました。しかし、そんな私を支えてくれたのはメンバーや、先輩諸兄姉の皆様でした。私が今この卒業という門出に立てているのも皆様の支えや温かい応援があるからに他なりません。今ではその全てが私の宝物となっております。JC活動の中で無駄だった事など一つもありません。

今年をもちましてJCは卒業となってしまいますが、今後もJCの三信条である「奉仕・修練・友情」を胸に刻み続け、まちのため、ひとのために躍進続けます。短かったですが、とても濃い5年間でした。お世話になりました。本当にありがとうございました。

高山有美子



入会年月：2021年6月
入会番号：759

2021年に入会させていただき、約5年間の活動を通じ、多くの出会いと経験をさせていただきました。

わたしが青年会議所に入ったきっかけは、2020年のコロナ禍でのマスク事業でした。大変な状況下でもしっかりと活動を行う(公社)川越青年会議所に感銘を受け、入会しました。

青年会議所に入会后、経営開発委員会、社会開発委員会、特別委員会、青少年開発委員会と様々な委員会を経験させていただきました。入会后、OBの先輩方にまちでお会いした際、「JCに入ったと聞いたよ。頑張ってるね!」とお声がけいただきました。身が引き締まると同時に、歓迎の温かいお言葉に励まされ、入ってよかったと嬉しく思いました。

またJCの活動の中で、川越のまちの方や学生、そしてJCでなければ取材やお話を聞くことが難しい方とお話をすることができ、様々な刺激を受けました。一緒に活動したメンバーの皆様を支えられながら、色々と勉強させていただいた5年間となりました。大変お世話になりました。

最後になりますが、(公社)川越青年会議所メンバーの皆様、OBの皆様、各関係諸団体のみなさまに感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

谷本 典一



入会年月：2023年6月
入会番号：785

2023年3月—あの日の自分を思い返すと、胸が締めつけられます。不安も迷いも抱えたまま、それでも「もっと成長したい」「誰かの力になりたい」と、半ば必死で(公社)川越青年会議所に飛び込んだあの日。あの一歩が、私の人生をここまで揺さぶるとは思っていませんでした。

最後の一年、経営開発委員会で過ごした時間は、私にとって人生の宝物です。深夜まで議論し、理想と現実の間でもがきながら、それでも前に進もうと必死だった日々。うまくいかないことの方が多かった。でも、どんなに苦しい瞬間も、隣にはいつも仲間がいてくれました。仲間の存在がどれほど救いになったかわかりません。心が折れそうになった日も、自分の弱さに悔しくなった日も、それでも再び立ち上がったのは、この団体が本気で向き合い、本気で支えてくれる場所だったから。JCとは人の心をここまで熱くするのかと、何度も胸が震えました。

卒業を迎え、嬉しさよりも寂しさが勝ちます。もうこの仲間たちと同じ景色を同じ温度で見ることができないのかと思うと、胸が痛むほどです。それほどまでに、ここで過ごした時間が尊く、大切でした。ですが私は、ここで終わりません。この3年間で燃え上がった炎は、これからの人生を照らし続けます。OBとして、現役メンバーの挑戦を心から支え、川越の未来のために、自分の魂を込め続けると誓います。

川越青年会議所で出会ったすべての人へ。本当にありがとうございました。みなさまのおかげで、私は卒業することができました。この感謝と絆は、一生忘れません

藤田 尚美



入会年月：2021年5月
入会番号：757

(公社)川越青年会議所に2021年に入会した当初は、コロナ禍の真っ只中で、事業を進めるにあたって一つひとつの感染対策を慎重に検討しなければならず、思い描いていた活動が思うように実施できなかったことを今でもよく覚えております。

そのような厳しい状況下でも、オンラインを活用した事業構築や例会運営に挑戦し、委員会メンバーとともに試行錯誤を重ねながら取り組んだ経験は、時代の変化に合わせ柔軟に対応する力を身につけるきっかけとなりました。

私はこれまで副委員長という立場しか経験しておりませんが、諸先輩方や委員会メンバーの皆さまと力を合わせ、悪戦苦闘しながら事業や例会を作り上げてきた時間は、私にとって大きな学びであり、今までにないほどの自己成長につながりました。

こうして活動を続けることができたのも、長年にわたり(公社)川越青年会議所を支えてくださったOB・OGの先輩方のお力添えのおかげです。改めて心より、心より深く感謝申し上げます。

最後の年は思うように力を発揮できず心残りもありますが、ここで得た経験、学び、そしてかけがえのない仲間は、私にとって一生の宝物です。これまで本当にありがとうございました。

古屋 ナオキ



入会年月：2017年11月
入会番号：721

2017年の入会以来、私は青年会議所での活動を通じて、多くの学びと出会いに恵まれました。右も左もわからないまま飛び込んだあの日から今日まで、先輩方に背中を押していただき、仲間たちと支え合いながら、地域のため、そして自分自身の成長のために歩んできた時間は、私の人生においてかけがえのない財産となりました。

各委員会での事業構築や運営、議案づくりに奔走した日々、仲間と遅くまで語り合いながら地域の未来を考えた時間、思うようにいかず葛藤した経験のすべてが、今の自分を形づくっていると感じています。また、同じ志を持つメンバーと共に汗を流し、一つの目標に向かって挑戦する楽しさや達成感は、青年会議所ならではの貴重な経験でした。

卒業を迎えるにあたり、これまでご指導くださった先輩諸兄弟、共に活動してきた同志の皆さまに、心より感謝申し上げます。青年会議所で培った経験とご縁を胸に、これからは一OBとして地域社会の発展に微力ながら寄与していく所存です。

最後になります、現役メンバーの皆様には、どうか恐れずに一歩を踏み出し、自らの可能性を信じてJC活動に励んでいただきたいと思います。皆さまの今後のますますのご活躍を祈念し、感謝をもって卒業のご挨拶とさせていただきます。

星野 泰宏



入会年月：2020年10月
入会番号：745

2020年に入会して以来、約5年間にわたり（公社）川越青年会議所にて活動の機会を賜りました。この間、修練を積んだという自覚以上に、仲間とともに夜を徹して資料を作成した日々、数々の事業に向き合い乗り越えてきた経験が深く心に刻まれており、今この時、名残惜しい思いが胸に込み上げております。ともに歩んだ同志の友情、そして「まち」への奉仕の精神に満ちた貴重な時間を過ごすことができましたこと、心より御礼申し上げます。

思い返せば、青年会議所は私にとって身近な存在でございました。父がかつて別のLOMに所属していたこともあり、その名を幼い頃より自然と認識しておりました。私が社会に出てサラリーマンを辞し、川越に戻った折にお声がけを頂戴し入会を決意しましたが、当初は「父が経験したのであれば自分にもできるだろう」と安易に考えていた部分もございました。

しかしながら、入会直後の3分間スピーチや理事会を通じ、この組織が想像以上に厳格で規律を重んじる場であることを痛感いたしました。以降の5年間で得た学びは、私にとってかけがえのない財産であり、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。2026年1月をもちまして（公社）川越青年会議所のOBとなります。OB各位におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。また、現役会員の皆さまにおかれましては、何かお困りの際には遠慮なくお声がけいただけましたら幸甚に存じます。有難うございました。

町田 侑太



入会年月：2024年11月
入会番号：800

2024年に（公社）川越青年会議所に入会させていただいてから、1年と数か月と、短い時間ではありましたが、それでも、メンバーや諸先輩方には大変お世話になりました。感謝という言葉では表しきれない程、恩義に感じております。

参加した当時は、（公社）川越青年会議所の活動に捧げるつもりだったのですが、家庭、仕事との両立が難しく、当初想定していたよりも、（公社）川越青年会議所の活動が出来なかったことを悔いておりますが、それでも、（公社）川越青年会議所の企画を通じて自分自身を成長させ、また、仕事を越えた人間関係の構築が出来たのではないかと考えております。

タイムマシーンがあれば、もっと早く、そして深く、（公社）川越青年会議所に参画しているところですが、AI技術が発展して

いる現代社会においても、残念ながら、タイムマシンの発明までは至っていないため、これは実現できそうにはありません。無念です。

まだ、皆様には、（公社）川越青年会議所に深くかかわる時間があると思いますので、私のように後悔することなく、是非、（公社）川越青年会議所の活動に積極的に参加をし、メンバー間の絆を深めつつ、自分自身を成長させていただければと思います。

末筆ではございますが、この日まで支えてくださったメンバーの方々に感謝を申し上げる共に、皆様の益々のご発展を草場の陰から見守っております。

理事会報告

第12回理事会

日時：2025年12月4日（木）19時00分～20時20分
会場：川越商工会議所 2階 会議室

議案

- 第1号議案 2026年度事業計画（案）に関する件
- 第2号議案 2026年度収支予算（案）に関する件
- 第3号議案 65周年記念講演事業報告書に関する件

全議案とも、原案通り可決承認されました。

出席理事 16名中15名

新入会者紹介

西田 紘佑（にしだ こうすけ）1994年/30歳

- 事業所：ビクトリージム川越
- 事業内容：スポーツ業
- 事業所住所：川越市新富町1丁目11番地2
シントミビル3F



ビクトリージム川越にて、プロキックボクサー兼トレーナーとして活動させていただいております、西田紘佑と申します。川越のまちを盛り上げていくと共に、活動を通じて色々な事を吸収して成長してまいります。よろしくお願いたします。

仮入会者紹介

尾嶋 慎也（おじま しんや）

- 事業所：Shooting girl's bar White et rouge
- 事業内容：飲食業
- 事業所住所：上尾市谷津2丁目1番地38 第2フジビル302

淵 蒼起（ふち そうき）

- 事業所：セールスエンパワーメント
- 事業内容：生成AIコンサルタント
- 事業所住所：富士見市ふじみ野3丁目17番地1
タートルクレインふじみ野208